



ふかざわ よしひこ
深澤 義彦 鳥取市長

賀露町在住
昭和53年鳥取市役所に入庁。秘書課長、市民税課長、総務部次長、行財政改革参事監などを歴任し、平成18年6月助役（現副市長）に就任。平成26年4月市長に就任。現在1期目。

鹿野町在住
NPO法人いんしゅう鹿野まちづくり協議会前理事長。鹿野町地域審議会委員としても活動し、鹿野をはじめ西部地域の魅力発信に積極的に取り組んでいる。

- (株)ふるさと鹿野 代表取締役
- 鳥取市西商工会会長
- 因幡街道交流会議会長 など



なが おひろあき
長尾 裕昭 さん



うえ やま ひろこ
上山 弘子 さん

福部町在住
教育問題に積極的に取り組んできた経歴を持ち、現在は地域審議会委員及び校区審議会委員という立場で、教育の観点からまちづくりに携わっている。

- 元鳥取県教育委員会委員長
- 前福部中学校PTA会長
- 鳥取湖稜高PTA会長 など



まえ た まさひと
前田 正人 さん

佐治町在住
新市域振興アドバイザー。農産物等直売所管理組合「かみんぐ百彩」を運営し、佐治地域における小学生などの農家民泊受け入れにも積極的に取り組んでいる。

- 元鳥取市佐治町総合支所長
- (株)さじ式拾巻 代表取締役
- 五しの里さじ地域協議会会長 など

地域の特徴を生かしたまちづくり

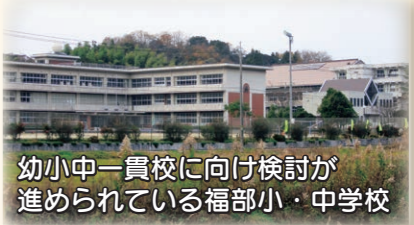
中野 佐治町の地域おこしの取り組みは参考になりそうですが、いかがですか。
深澤 鳥取市は平成16年11月に合併し、広い市域を有する市になりました。面積の9割を占める中山間地域に人口の50%のみなさんが居住しています。佐治町の取り組みを、地域振興の参考にしたいと思っています。

中野 ここからは座談会のテーマ『自信と誇り・夢と希望に満ちた「すごい！鳥取市」をめざして』についてご意見をお伺いします。
深澤 長尾さん、高速道路網、ジオパークを活かした地域振興、従来から取り組んでいますジビエを活用したまちづくりについてお話をいただけたらと思います。
長尾 西部地域では鳥取地鶏ピヨ、生姜とかいろんな食材がありますが、どのようなものでなしやガイドができるか。観光客の満足度アップにつながるために、地域の

鳥取市西いなば地域振興協議会を立ち上げ、西部地域の振興、経済の活性化をどのようにしていきたいかと検討会を行いました。その中で、西道路の沿線に道の駅を作っていたらどうと鳥取市にも要望しました。地方創生という言葉が使われていますが、道の駅を西部地域の創生拠点にしていきたい思いで、商工会や協議会、地域の住民と一緒に頑張って努力しています。
中野 市長、長尾さんの西地域への思いを聞かれていますか。
深澤 山陰海岸ジオパークの西エリア拡大も一つの契機となり、地元で協議会を設置されたいへん盛り上がりがあります。道の駅も整備方針が決定されます。方針に従い、必要な予算等も確保していきたいと思えます。西道路の整備を促進していくよう、関係機関にこれからも要望していきたいと考えています。
中野 続いて、上山さんは県内初の取り組みとして幼小中一貫校の推進に力を注いでいらっしゃると思います。教育の観点からまちづくり

民間団体、観光や食の産業に従事されている方、農業の生産者などのようにジオスポットを利活用していくのか、「すごい！鳥取市」を作るのに議論し実行していくことが、今後必要ではないかと考えています。それから、どのようにしてジビエを普及させていくのか。いろいろなものを組み合わせる、鳥取市に滞在する時間を長くする企画商品をパッケージ化できないかと考えています。観光産業をしっかりとやっていくことは観光コンベンション協会の中でも議論が活発です。関係機関とよく協議しながら誘客を図っていききたいと思えます。
深澤 鳥取には素晴らしい農水産物もあります。有害鳥獣もうまく活用すればジビエとして資源に変わっていきます。また、高速道路や山陰海岸ジオパークをいかに活用して観光客の誘客に努めていくことがこれからの課題だと思います。
今、人口減少、少子高齢化が大きな課題で、各自自治体が知恵と工夫をもって対応していこうとし

についての思いをお聞かせください。
上山 福部中学校は市内でも子どもたちが少ない学校です。福部町に学校を残したい、中学校を残したいというみなさんからの熱い思いを受け、幼稚園、小学校、中学校の10年間で一貫校を作りたい、そして鳥取市版コミュニティスクールとしてやっていこうとしています。地域でどういった子どもたちを育てたいのか、どういう学校を作り上げたいのか。地域が学校と密接につながると思いますが、とてもいい取り組みになると期待しています。
中野 地域と学校との連携という話がありましたか、いかがですか。
深澤 先般も福部町の教育を考える会のみなさんより幼小中一貫校の要請をいただき、校区審議会からこの構想を進めるよう答申をいただいたところです。こういった



なかの えりこ
中野 恵理子 司会

た取り組みを鳥取市から進めていくことに意義があると感じています。これからは学校、教育委員会、そして地域のみなさんと進めていきたいと思えます。
中野 前田さんは、佐治町では五しの里づくりや高齢者の買い物支援などの取り組みを進めていらっしゃると思いますが、ご紹介していただけませんか。
前田 まず、佐治にある五し（※注1）という地域の宝を軸にして、自然、地域資源、歴史を中心に佐治町を盛り上げていこうと平成20年に五しの里さじ地域協議会を立ち上げました。2点目に、高齢化率が40%を超える中、さじ21が買物の支援事業を行っています。3点目に、佐治の土産品や高齢者が栽培した野菜の直売所、かみんぐ百彩が平成23年7月に鳥取市の補助事業を利用してオープンしました。最後に昨年4月、4人の地域おこし協力隊が佐治に来られました。リーダー役となり地域おこしに取り組んでほしいと思

ています。女性の立場から、安心して子育てしやすい環境づくりについて、上山さんお願いします。
上山 仕事がないから鳥取に帰ってこないのではなく、このまちに住みたいから地域で仕事を探す、鳥取市で何ができるか考えてもらいたいと思えます。
小学校でも中学校でも、住んでいる地域がこんなことをしている。と学習の一環で勉強しています。少しずつ郷土愛を自分たちの体に刻んでいく、その積み重ねが「大きくなくても鳥取市で頑張りたい」という気持ちにつながってくれたらいいと側面支援をしているわけです。子どもたちだけに自信と誇りをもってもらうのではなく、大人が「こんないいところがあるじゃないか、ぜひ帰ってきて一緒に頑張ろうよ」という声かけられるような地域にでき

（※注1）五し：佐治町にある地域資源。「梨(なし)」、「和紙(わし)」、「話(はなし)」、「石(いし)」、「星(ほし)」のこと。